

3 原山本谷施業指標林

古川営林署

設定の目的

ブナ地帯の天然更新体系の改善を図るため、モデル施業体系指標林を設け、収穫から更新に至る個別方法の改善を図り、技術体系の検証、普及定着に供する。

場 所 岐阜県吉城郡河合村原山本谷国有林175林班く小班

面 積 0.19ha

施業等の概要

伐採前の林況は、ブナ、ミズナラ、その他L、林齢200年、材積176m³/ha
伐採（皆伐）昭和52年、地拵え昭和52年、刈出し昭和53年・54年・60年

調査計画等

昭和53年7月稚樹調査8プロットを設定し、昭和59年まで毎年調査を行った。
その後は6年目の平成2年、以降3年目毎にブナ他有用広葉樹の稚樹発生調査を実行、更新の状況を調査している。

地 況

標 高：1,100m

林地傾斜：30°

土壌型：B_b(d)

方 位：NW

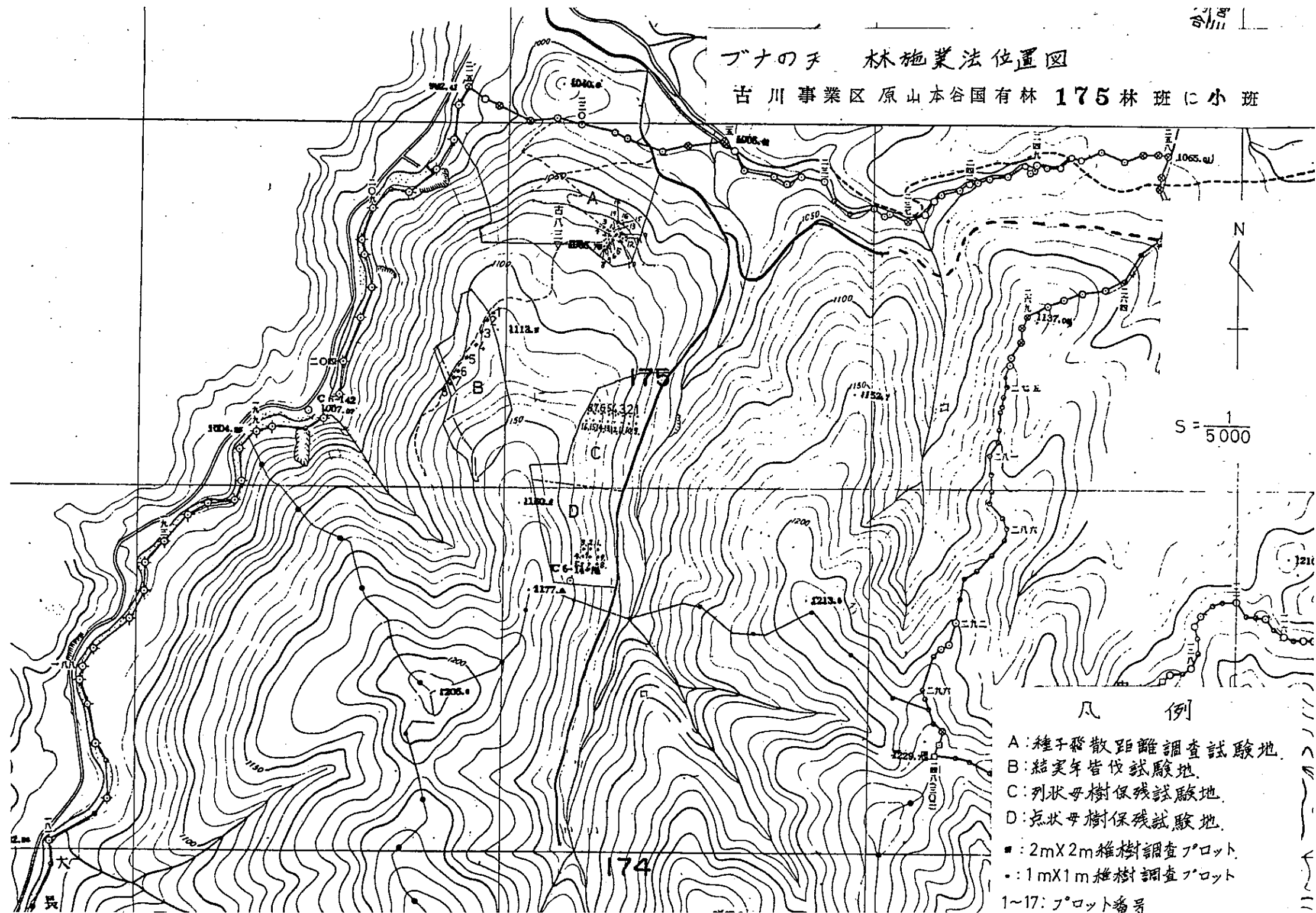
林 況

幼樹の成立本数は64,000本/ha、成育は順調で大部分が30cmを超えており、下方側の保残帯近接地ほど良好である。

樹種はブナが90%を占め、ナラ、カエデ類等が10%でブナの幼樹が立派に生育している。

ブナの子 林施業法位置図

古川事業区原山本谷国有林 175 林班に小班



N
 S = 1/5000

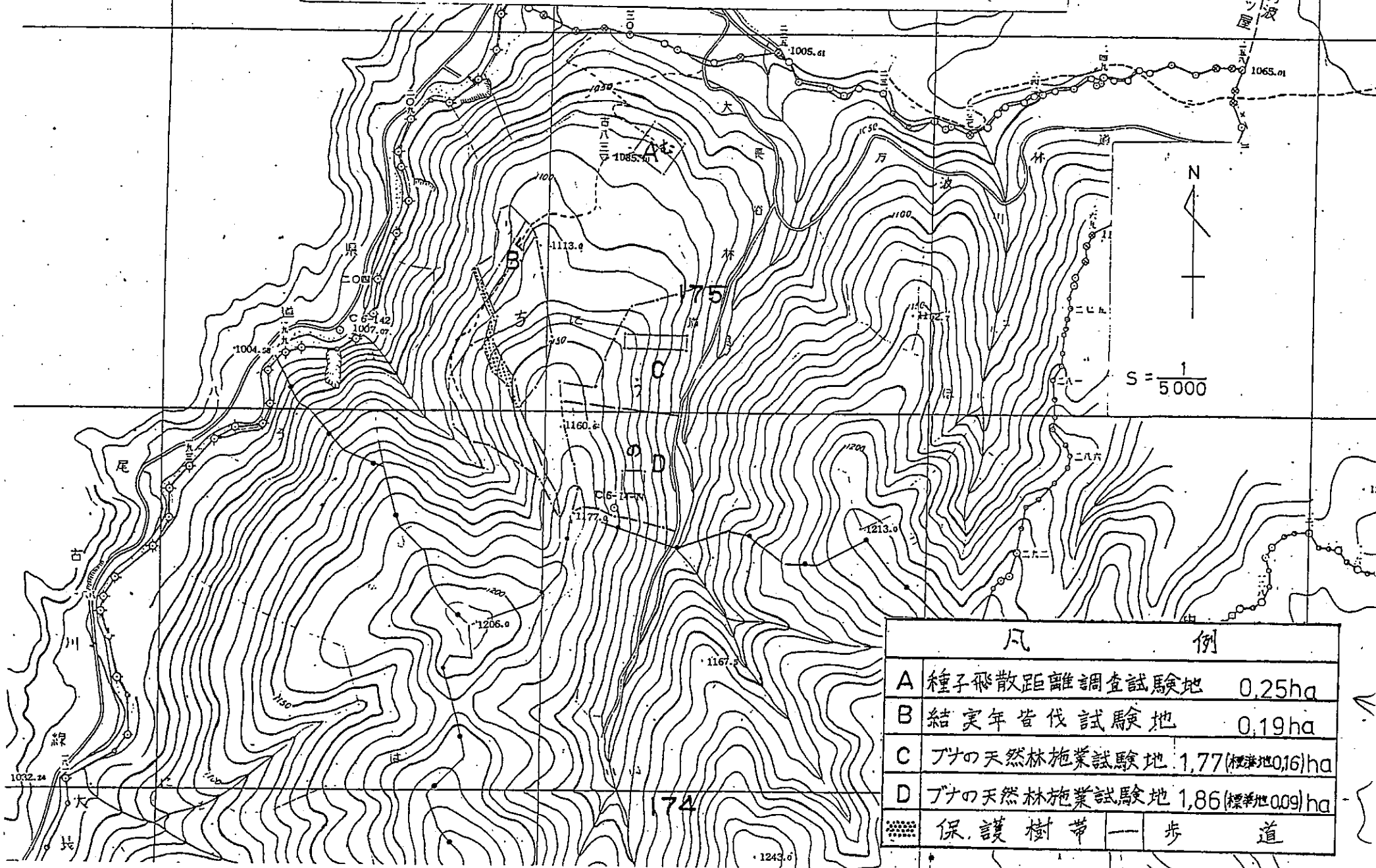
凡 例


- A: 種子發散距離調査試験地
- B: 結実年皆伐試験地
- C: 列状母樹保残試験地
- D: 点状母樹保残試験地
- : 2mX2m稚樹調査プロット
- : 1mX1m稚樹調査プロット
- 1~17: プロット番号

ブナ 天然林施業試験地位置

古川事業区原山本谷国有林 175 林班のうち、のむ小班

宮川村大字万波
河合村大字二ツ岡



凡 例	
A	種子飛散距離調査試験地 0.25ha
B	結実年皆伐試験地 0.19ha
C	ブナの天然林施業試験地 1.77(標準地0.16)ha
D	ブナの天然林施業試験地 1.86(標準地0.09)ha
	保護樹帯 一歩道